

浜松町館

東京都立産業貿易センター指定管理者一次評価 (資料5)

大項目	項目	確認項目	評価基準									
			配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか										
		施設・設備の保守点検(内容・回数等)・定期点検及び保守等	×1		○		様式6 建物管理業務実績	16項目	16項目			
		施設の清掃(施設の清潔さ)及び警備・床清掃(毎日)ほか・警備人数	×1		○		様式6 建物管理業務実績	4項目	4項目			
		人員配置(配置数、配置箇所、専門性等)・事業責任者の配置ほか(名)	×1		○		様式1 事業報告(1(1))	12名	12名			・館長1名、施設管理2名、総務経理2名、運営管理6名、営業広報1名の人員合計12名体制。 ・職員のライフワークバランスの観点から、運営管理に派遣社員1名、臨時職員2名を継続契約。
		人材育成の取組(各研修参加、訓練実施)	×1		○		様式1 事業報告(1(3)①、②) 資料③-1 研修参加実績 資料③-2 保有資格者一覧	研修体系の確立及び関係資格取得支援、多様なノウハウの維持継承	実施			・イベント業務管理士2級:認定更新3名 ・上級救命技能認定(AED):(新規5名および更新1名) ・防火防災管理講習:(新規1名) ・公社主催研修を実施 ・コロナ感染や病気等、職員が一定期間不在になるケースを想定し、事業継続性の観点から主要業務を複数名がこなせるよう多能工化を進めた。
		法人組織としての指定管理業務への関与・本社との連携体制の構築・戦略会議によるセンターの効用最大化	×1		○		様式1 事業報告(1(4))	産業貿易センター戦略会議の設置、本社からの支援機能の確立	実施			・産業貿易センター戦略会議を実施するとともに、公社専務理事を本事業の事業本部長、事務局長を副事業本部長とすることで、公社組織内の各部課との連携に向けた調整を図った。 ・事務室前に事業案内チラシを配架し、販路開拓支援サービス等を中心に20以上の事業を来場者に周知した。
		提案事業等の実施・施設利用者の準備作業等の調整	×2		○		様式1 事業報告(4(1)③、④)	利用者間の調整	実施			・運営管理の担当者1名を配置し、搬入出車両台数による駐車スペースの割り当てと効率的なエレベーターの割り振りを行った。 ・搬入に関するガイドライン等を含む「利用の手引き」を利用者に配布 ・利用者より希望を募り、担当者が荷扱場やエレベーターの割り振りを調整後、「荷物用エレベーター調整表」として関係者に配布及び掲示した。
		利用者の平等利用への取組(定期優先受付・随時受付)	×1		○		様式1 事業報告(4(1)①、5(1)②)	定期優先受付・随時受付	実施			・定期順位別申込制度により令和5年度の都内中小企業・団体の申し込みを優先的に受け付けた。(定期順位別受付終了時点の中小企業利用率65%) ・令和5年度利用分より中小企業団体とともに都内中小企業も第1順位とし、より利用しやすい制度に変更した。 ・eメール、郵送による受付とし、令和4年度からは押印省略によりスムーズな収受を推進した。
民間複合施設との連携	×1		○		様式1 事業報告(4(3))	利用者の利便性向上に向けた取組み、安心安全の向上に向けた取組等	実施			・ビルの入口から展示室までの導線がわかりにくいという利用者の声に応えるため、民間複合施設運営者と協議を重ね、ビル内の誘導サイン表示の追加やプロジェクションマッピングによる館内案内表示等を実現した。 ・浜松町館のBCP訓練(独自訓練:令和5年3月13日実施)に、ビル防災センターに参加いただき、発災時の放送訓練や、避難場所設置訓練などを合同で実施 ・民間複合施設運営者とも連携し、毎月「施設管理関係者連絡会」を開催して、施設の維持管理の質の向上を図った。		

●水準を上回る=達成度:概ね110%以上  
●水準どおり  
●水準を下回る=達成度:概ね90%以下

※定性的な指標は、事業目的に合致する効果的な取組を新規で行った場合は、水準を上回る。適正に実施した場合は水準どおり。事故・協定違反が発生した場合を水準を下回る。

		地域や地元住民との良好な関係の構築	×1		○		様式1 事業報告(5(5))	地元自治体との連携、地域や地元住民への取組	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>港区産業地域振興支援部とセミナー共催等、今後の連携について協議し、保有施設に関する情報交換も行った。</li> <li>竹芝地区定期清掃活動 参加(月1回/2〜3名)</li> <li>主な参加イベント</li> <li>竹芝地区まちづくり協議会2022年度総会(6月)、カラダ測定会in竹芝(7月)、竹芝夏ふえす、地域活性化部会(10月)、防災担当者会議防災訓練(11月)、竹芝みなど通り活用に関するインプットトーク(12月)、安心エネルギー環境部会(2月)</li> <li>ミクログリーンサイネージ試行設置協力</li> <li>スタンプラリー会場としてホワイエを提供する等、官・民・学が連携した竹芝の街全体を使ったイベント(「ちょっと先の面白い未来」)にて協力して地域貢献。</li> <li>デジタルサイネージを活用したホテル等周辺施設との相互施設紹介を行った。</li> <li>芝消防署主催の「自衛消防訓練審査会」に参加して自衛消防技術の向上および芝消防署との連携強化に努めた。</li> <li>消防署との連携促進目的で、「芝防火管理研究会」へ参加。</li> </ul>
		<評価理由> 適切な管理の履行がされている。				<備考>				

法令等の遵守										
個人情報保護、報告等は適切に行われているか		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
	個人情報保護、情報公開の取組及び利用記録等各種情報の管理・情報の適正管理等	×1		○		様式1 事業報告(5(1)①)	適正管理	実施		
	環境配慮への取組	×1	○			様式1 事業報告(4(4)③)	環境保全への配慮	実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>事務所のペーパーレス化に取組み、紙の使用量を対前年度で52%削減した。</li> <li>夏季の節電に取組み、利用者の快適性を損なわない範囲での室内温度設定の調整や、事務室前や荷扱い場等の一部消灯に取組んだ。</li> <li>ガスコジェネレーションによる熱・電気のスマートエネルギーネットワークを活用した。</li> </ul>
	手続のデジタル化	×2		○		様式1 事業報告(5(1)①)	手続のデジタル化	実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度もマイページによる電子申請受付を促進し、マイページ登録者数を増やした(R4年度末マイページ登録者数:586件。うちR4年度新規登録:200件)。</li> <li>更なる手続きのデジタル化に向けて、所内にプロジェクトチームを立上げ、システムのリニューアルに向けた検討を専門家を交えて行った。</li> </ul>
	各種法令の遵守及び都への報告・連絡	×1		○		様式1 事業報告(5(1)①)、実地検査等	迅速に対応	実施		コンプライアンス・マニュアル等の規程類を適宜改訂
	<評価理由> 事務所のペーパーレス化に取組み、紙の使用量を対前年度で52%削減。				<備考>					

管理状況										
施設の安全性は確保されているか		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
	施設設備の安全性の確保 適切な工事、修繕の実施	×2		○		様式1 事業報告(5(2)) 様式6 建物管理業務実績 様式7 工事・修繕実績	日常点検の実施、清掃の徹底、適切な修理・修繕の実施等	実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>建物(設備)管理者を展示室利用時間中に常駐させ、日々の点検内容確認やトラブル対応を迅速に実施することで、円滑な施設運用を実施。</li> <li>浜松町館のBCP訓練に、ビル防災センターに参加いただき、発災時の放送訓練や、避難場所設営訓練などを合同で実施</li> </ul>
	防災、防犯への配慮及び緊急時対策 自主防災組織の設置と定期訓練 防災マニュアルの改訂と周知 警備体制の確保・避難誘導の体制づくり	×1		○		様式1 事業報告(5(3)) 別添資料①テロ等対策	事故防止対策及び初動対応、被災時の安全対策	実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>事故はゼロであるが、定期点検後に貨物エレベータ停止事象が発生したため、定期点検後の確認手順をマニュアル化するなど、再発防止策に取り組んだ。</li> <li>帰宅困難者の「一時滞在施設運営マニュアル」の見直しを実施し、令和5年3月版に更新した。</li> <li>BCPマニュアルも見直しし、令和5年3月版を作成するとともに、令和5年3月に訓練を実施した。</li> </ul>

	施設・設備管理に関する書類等の管理 ・業務報告(警備、清掃、設備)の作成(毎日)	×1		○		実地検査	—	適正に実施		
	<評価理由> 安全性の確保を適切に実施した。					<備考>				
財務・財産の状況	適切な財務運営・財産管理が行われているか	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
	収支状況(安定的な運営) ・利用料金収入	×2	○			様式1 事業報告(3(1)①) 様式2 事業収支 様式3 経営状況分析指標	・利用料金収入 458,544千円	・利用料金収入 507,659千円	110.7%	・利用料金収入は、計画458,544千円に対し、実績507,659千円で達成率110.7%
	経理処理(書類等の管理含む) ・経理の明確な区分、経理状況の明確化 ・帳簿、関係書類の整備、保存	×1		○		実地検査	—	適正に実施		
	所有財産の管理 ・保全物品整理簿の整備	×1		○		様式12 物品整理簿 様式13 購入物品整理簿、実地検査	—	適正に実施		
	<評価理由> ・利用料金収入は、計画458,544千円に対し、実績507,659千円で達成率110.7%					<備考>				
利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
	展示室の利用状況(稼働率)	×2	○			様式1 事業報告(3(1)①) 様式8 利用実績	1日(9-21時) 50.0% 【参考】 日中(9-17時) 67.0%	1日(9-21時) 56.6% 【参考】 日中(9-17時) 71.3%	113.2% 【参考】 106.4%	・令和4年度の展示室の施設稼働率は56.6%(9-21時)、71.3%(9-17時)と昨年度より大幅に改善して今年度の目標も達成した(R3年度:34.6%(9-21時)、43.2%(9-17時)、R4年度目標値:50%(9-21時)、67%(9-17時))。 ・今年度も引き続きコロナ禍の影響が続いたが、「利用者の要望を把握し適切に対応する取組」を通じた顧客満足の向上、公社他事業と連携し「単なる場の提供に終始しない付加価値の提供」による中小企業のビジネス促進、積極的な地域イベント参加等による「近隣関係者からの信頼・協力」に基づく安心・安全な館の運営等により、高稼働率を達成した。
	会議室の利用状況(換算日数)	×1	○			様式1 事業報告(3(1)①) 様式8 利用実績	1日(9-21時) 194.8日 【参考】 日中(9-17時) 223.1日	1日(9-21時) 217.8日 【参考】 日中(9-17時) 250.0日	111.8% 【参考】 112.1%	・会議室の利用状況(換算日数)は、計画194.8日に対し、実績217.8日、達成率111.8%
	施設設置目的の実施状況(中小企業利用件数等)	×2		○		様式9 展示室受付順位別利用実績	55.0%	49.7%	90.4%	全催事の49.7%が中小企業による。
事業効果	利用促進への取組 ・新規利用及びリピータの獲得	×2	○			様式1 事業報告(2(1)①, ②)	販路開拓支援、新規展示会の誘致強化	実施		・両館合同で自治体や金融機関、イベント会社等に営業訪問を実施した。この結果、新規顧客の獲得と公社事業や外部関係機関利用に繋がった。(R4新規:全体の3割強、公社事業:5件、関係機関:22件) ・城南6区の自治体連絡会にて職員が産業貿易センターのPRを行った。 ・外国大使館を訪問し、新規展示会の誘致活動を行った。 ・鉄道沿線の団体、区内企業、金融機関等へのDM発送を行った。 ・空室情報のアクセス状況を分析し、利用検討中の団体に対して案内メールを発信し、利用を促進した。 ・WEBサイトにプロモーションビデオを掲載し、利用者に分かり易くPRを行った。その結果、WEBサイトの年間アクセス数は1,659,989ページビューと増加した(昨対:126.3%)。 ・結果として3割強の新規利用率を確保できた。

		<評価理由> ・展示室の稼働率:達成度113.2% ・会議室の利用状況:達成度111.8% ・両館合同で自治体や金融機関、イベント会社等に営業訪問を実施した。この結果、新規顧客の獲得と公社事業や外部関係機関利用に繋がった。(R4新規:全体の3割強、公社事業:5件、関係機関:22件)				<備考>					
サービス内容の向上	事業内容、職員対応等について、利用者の反応はどうか	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
	事業の企画、実施、成果 ・自主事業の実施(展示・商談会等) ・都の他施策との連動性、協調性等	×2		○		様式1 事業報告(2(3)②,5(4)①)	自主企画催事の開催	実施		・公社事業として、「海外人材育成普及啓発セミナー」や「海外展開チャレンジセミナー」、「ビジネスマッチング in 東京」等の催事を浜松町館で開催した。 ・公社城東支社と連携し、受付窓口に伝統工芸品の展示コーナーを設置し、東京の伝統工芸品の魅力発信を継続した。	
	サービス向上に向けた取組 ・利用者ニーズの把握 ・サービス向上の検討及び情報共有体制 ・搬出入効率化の推進	×2		○		様式1 事業報告(4(1)③④,(2)③④,4(4)①)	利用者要望を的確に把握、要望等をサービス向上に活かす取組	実施		・アンケートの配布、回収による要望の吸い上げ。 ・利用者、装飾業者の代表者に対して「産業貿易センター運営会議」を書面開催し、ご意見・ご要望を伺った。 ・運営管理の担当者1名を配置し、搬出入両台数による駐車スペースの割り当てと効率的なエレベーターの割り振りを行った。 ・CS会議を定期的に開催し、アンケート内容の共有、対応策の検討を行った。	
事業効果	サービス内容の向上	特色ある事業の実施 ・利用者へのサポート、展示商談会のコーディネート等	×1	○		様式1 事業報告(2(2)③)	展示会や会議室等のトータルサポートの強化	実施		・公社が実施する国内外の販路開拓事業と連携したセミナーやビジネスマッチング会を開催した他、自治体や連携先支援機関が商談会等を当館の展示室で行い、コロナ後の中小企業のビジネス促進に寄与した。(R4利用実績:公社事業5件、関係機関22件、来場者計487名) ・公社海外展開支援拠点の職員と催事の開催情報を共有し、海外ビジネスに興味がある中小企業の出展者に海外ニーズのヒアリングを試みた。その中で、ASEEANへの展開に関心がある出展者を公社タイ事務所へ繋ぎ、現地のマッチング支援を開始した。 ・来場者から起業に係る相談を受けて公社の創業相談を行う部署に繋ぐなど、公社が持つネットワークを活かした支援を行った。 ・定期受付の申込者の中から、スノーボード、アパレル等、同業で高い相乗効果が見込まれる複数の展示会の日程調整を行った。 ・障害者向け就職フェアでの受付や、ファミリーセールの待機列対策等、安全性を確保した上でのエントランス等共用部の一部利用の検討を認めた。 ・イベント業務管理士が主導して主催者・出展者向けの「展示会活用ガイド」を作成し、効果的な展示会運営への支援を開始した。	
		利用者サービスに資する自主事業の取組 ・備品類の充実、備品貸出サービス等の事業実施	×1		○		様式1 事業報告(2(3)①,4(4)②)	備品貸出サービス等の提供	実施		・館内導線のわかりにくさを解消するため、プロジェクションマッピングによる導線案内の新設、誘導サインの追加、浜松町駅から会場までの案内のMAP作成を行った。共用部分の損傷や景観を損ねない等の制限に対して、プロジェクションマッピングによる表示を当館から提案し、ビル管理者等と長期間にわたる調整・協議を重ねて実現に至った。 ・施設利用者へのサービスの一貫として、主催者および出展者向けの「展示会活用ガイド」を作成し、催事開催・出展効果向上に向けた情報提供を行った。 ・利用者アンケート等の要望を踏まえて、演台、ハンガーラック、清掃道具等を購入した。 ・外国人来場者に対応するためAI翻訳機を準備した。
		利用者の満足度(利用者アンケート)	×2	○			様式4 利用者アンケート結果	アンケートの実施	大変満足・満足・どちらかと言えば満足計97.4%		配布431件 回収333件 回収率77.2%

		質の高いサービス提供のための提案 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮、外国語対応の推進等	×2	○			様式1 事業報告(4(4))	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮等	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害者や声を失った方等の来場に対応するため、筆談ボードを準備した。</li> <li>・障害者向けイベントの主催者に施設の使い勝手に関するヒアリング調査を実施。民間複合施設運営者と情報を共有し、修繕等の対応策を検討。</li> <li>・「利用案内」と公式ウェブサイトにバリアフリーに特化した情報を掲載。</li> <li>・施設案内、周辺情報、アクセス、FAQページを英語、中国語簡体字、韓国語で対応。英語が堪能な職員を採用しており、外国人来場者からの問い合わせに対応した。</li> </ul>
		苦情等への対応 ・現場指導、調整及び注意喚起の実施	×1		○		様式1 事業報告(4(2)①、②) 様式5 事故・故障対応一覧	苦情などへの対応	実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者に対してはアンケートの配布・回収、来場者に対してはご意見箱を設置し苦情や要望等の吸い上げを行った。</li> <li>・CS会議を開催し、利用者からの「苦情や要望」や「利用者への対応内容」についてひとつひとつ論議し対処した。</li> <li>・苦情等の発生を未然に防ぐため、職員向けに施設独自で特別研修を企画し、顧客対応の向上に努めた。</li> <li>・館内導線がわかりにくいことへの苦情に対して、館内導線案内MAPを作成して事前に配布する対応を行った。</li> </ul>
		<p>&lt;評価理由&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者満足度:97.4%</li> <li>・同じ建物内の公社海外展開支援拠点の職員と催事の開催情報を共有し、海外ビジネスに興味がある中小企業の出展者に海外ニーズのヒアリングを試みた。その中で、ASEEANへの展開に関心がある出展者を公社タイ事務所に繋ぎ、現地のマッチング支援を開始した。</li> <li>・公社事業として、「海外人材育成普及啓発セミナー」や「海外展開チャレンジセミナー」、「ビジネスマッチング in 東京」等の催事を浜松町館で開催した。</li> <li>・イベント業務管理士が主導して主催者・出展者向けの「展示会活用ガイド」を作成し、効果的な展示会運営への支援を開始した。</li> </ul>					<備考>			

	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)
合計点 54点	配点×1	2点×6項目	1点×16項目	0点×0項目
	配点×2	4点×5項目	2点×3項目	0点×0項目
	(小計)	32点	22点	0点

一次評価結果	得点 54点	標準点	S (55点以上)	A (52～54点)	B (37～51点)	C (36点以下)
	A	19項目×1点 ×1(配点) +11項目×1点 ×2(配点) = 41点	標準点の1.33倍 (小数点以下切上)点以上	S-1点以下 標準点の1.25倍 (小数点以下切上)以上	A-1点以下 C+1点以上	標準点の0.88倍 (小数点以下切捨)点以下

特記事項	<p>(特に評価すべき点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度も引き続きコロナの影響によるキャンセル等が続いた中、利用者満足度97.4%、目標50%に対して稼働率56.6%(9-21時)を達成。</li> <li>・会議室の利用状況(換算日数)は、計画194.8日に対し、実績217.8日、達成率111.8%</li> <li>・利用料金収入は、計画458,544千円に対し、実績507,659千円で達成率110.7%</li> <li>・同じ建物内の公社海外展開支援拠点の職員と催事の開催情報を共有し、海外ビジネスに興味がある中小企業の出展者に海外ニーズのヒアリングを試み、その中で、ASEEANへの展開に関心がある出展者を公社タイ事務所に繋ぎ、現地のマッチング支援を開始。</li> <li>・両館合同で自治体や金融機関、イベント会社等に営業訪問を実施。この結果、新規顧客の獲得と公社事業や外部関係機関利用に繋がった。(R4新規:全体の3割強、公社事業:5件、関係機関:22件)</li> <li>・事務所のペーパーレス化に取組み、紙の使用量を対前年度で52%削減。</li> </ul>
------	--

台東館

東京都立産業貿易センター指定管理者一次評価 (資料5)

大項目	項目	確認項目	評価基準								
			●水準を上回る＝達成度:概ね110%以上	●水準どおり	●水準を下回る＝達成度:概ね90%以下	※定性的な指標は、事業目的に合致する効果的な取組を新規で行った場合は、水準を上回る。適正に実施した場合を水準どおり。事故・協定違反が発生した場合を水準を下回る。					
		協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画等	実績	達成度	特記事項
管理状況	適切な管理の履行	施設・設備の保守点検(内容・回数等) ・定期点検及び保守等 (事業計画に定める回数:項目)	×1		○		様式6 建物管理業務実績	22項目	22項目		
		施設の清掃(施設の清潔さ)及び警備 ・床清掃(毎日)ほか(5項目) ・警備人数(105人/月)	×1		○		様式6 建物管理業務実績	5項目 105人/月	5項目 112人/月		
		人員配置(配置数、配置箇所、専門性等) ・事業責任者の配置ほか(14名)	×1		○		様式1 事業報告(1(1))	14名	14名		・館長1名、施設管理3名、総務経理2名、運営管理7名、営業広報1名の人員合計14名体制。
		人材育成の取組(各研修参加、訓練実施等)	×1		○		様式1 事業報告(1(3)①、②) 資料⑥ 保有資格一覧	研修体系の確立及び関係資格取得支援、多様なノウハウの維持継承	実施		・イベント業務管理士2級:新規取得2名、有資格者は計5名 ・上級救命講習(AED):更新受講者3名、有資格者は計13名 ・防火管理技能講習:1名受講、防火防災管理者講習:1名受講、防災センター要員・自衛消防業務講習:1名受講 ・上級救命講習(3名受講)、防火防災管理者講習・防火管理技能講習(1名受講)
		法人組織としての指定管理業務への関与 ・本社との連携体制の構築 ・戦略会議によるセンターの効用最大化	×1		○		様式1 事業報告(1(4))	産業貿易センター戦略会議の設置、本社からの支援機能の確立	実施		・公社幹部と産業貿易センター職員が出席する戦略会議を4回開催した。 ・戦略会議にて販路開拓に関する助言や営業先の紹介等を行い、組織一体としてのPR活動を行った。 ・戦略会議で共有した情報をもとに、自治体や金融機関等11団体を訪問し施設案内を実施した。 ・契約事務等の知識を有する固有職員を総務経理課長代理として配置するとともに、本社総務課、企画課との連携により、契約事務の適正化や情報セキュリティの確保を実施した。
		提案事業等の実施 ・施設利用者の準備作業等の調整	×2		○		様式1 事業報告(4(4))	利用者間の調整	実施		・複数の搬入・搬出が重なり、混乱が予想される場合、利用日の2ヶ月前に当事者を集め搬出入調整会議を開催し、当事者間の調整を図った(毎月実施)。 ・展示開催日を増やすことで1日当たりの来場者を減らす提案等を行い、3密や混雑を避ける対策を実施した。
		利用者の平等利用への取組 (定期優先受付・随時受付)	×1	○			様式1 事業報告(4(1)、(3)②)	定期優先受付・随時受付	実施		・R5年度利用分より中小企業団体とともに都内中小企業も第1順位とし、より利用しやすい制度に変更した。 ・新規利用者にもわかりやすいように、定期優先、随時受付の利用申請方法や、利用申請後に必要な提出物等に関する説明動画(「展示室等の利用申込み・利用方法について」 <a href="https://youtu.be/-w06iwi8YNc">https://youtu.be/-w06iwi8YNc</a> )を新規に制作し、ホームページに掲載した。
		他機関等との連携 ・区民会館との連携による利便性の向上	×1		○		様式1 事業報告(2(2)④)	台東区民会館と浜松町館との連携による利便性向上	実施		・台東区民会館案内パンフレットの配架を継続した。 ・希望スペースにそぐわない状況や、夜間利用を希望する利用者に対して、台東区民会館利用の提案を行った。
地域や地元住民との良好な関係の構築	×1		○		様式1 事業報告(5(3))	地元自治体との連携、地域や地元住民への取組	実施		・商工会議所台東支部、浅草観光連盟、台東区と協力体制を構築し、イベント開催協力と定期的な情報交換を実施。 ・地域イベント、会合へ参加して、地域住民との交流を通し良好な関係を維持した。 ・毎月の台東館イベント情報を地域住民へ公開・配布し、飲食店等を中心に周辺来場者動向の共有化を実施、大型催事開催時など近隣住民に迷惑が及ぶ恐れがあるときも事前に情報提供を行った。		

		<評価理由> 新規利用者にもわかりやすいように、定期優先、随時受付の利用申請方法や、利用申請後に必要な提出物等に関する説明動画(「展示室等の利用申込み・利用方法について」)を新規に制作し、ホームページに掲載した。				<備考>								
法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか					配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
	個人情報保護、情報公開の取組及び利用記録等各種情報の管理・情報の適正管理等					×1		○		様式1 事業報告(4(3)①)	適正管理	実施		
	環境配慮への取組					×1	○			様式1 事業報告(4(7)④)	環境保全への配慮	実施		・事務所のペーパーレス化に取組み、紙の使用量を対前年度で60%削減した。 ・実量制を採用している電気料金は、ピーク電力の抑制が必要であるため、システムによるデマンド制御とともに、使用電力量を人力によって調整し、省エネに努めた。
	手続のデジタル化					×2		○		様式1 事業報告(4(3)①ウ)	手続のデジタル化	実施		・マイページの担当者を2名配置してレスポンスを良くすることで、マイページからの利用申請を推進した。(R4年度マイページ新規登録件数は102件、新規登録件数95件) ・浜松町館と連携し、更なる手続のデジタル化に向けて、所内にプロジェクトチームを立上げ、システムのリニューアルに向けた検討を専門家を交えて行った。
	各種法令の遵守及び都への報告・連絡					×1		○		様式1 事業報告4(3)① 実地検査等	迅速に対応	実施		・コンプライアンス・マニュアル等の規程類を適宜改訂
	<評価理由> 事務所のペーパーレス化に取組み、紙の使用量を対前年度比で60%削減した。					<備考>								
管理状況	施設の安全性は確保されているか					配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
	施設設備の安全性の確保 ・適切な工事、修繕の実施					×2		○		様式1 事業報告(5(1)) 様式6 建物管理業務実績 様式7 工事・修繕実績	日常点検及び清掃の徹底、適切な修理・修繕の実施	実施		・定期点検以外の時期にも施設担当職員が日常的に現場を巡回し、異音の発生などがいないか点検を行っている。建物・駆体設備については他の職員も、異常の有無の確認をしている。(週1回、年間巡回回数50回) ・台東館入居団体と、保守委託業者で構成する「建物総合管理情報交換会」を月1回開催し、定期的に情報の共有を行った。
	防災、防犯への配慮及び緊急時対策 ・自主防災組織の設置と定期訓練 ・防災マニュアルの改訂と周知 ・警備体制の確保・避難誘導の体制づくり					×1	○			様式1 事業報告(5(2))	事故防止対策及び初動対応、被災時の安全対策	実施		・定期的に館内管理権限者との「共同防火防災管理協議会」を開催し、防火防災体制の見直しを実施している。 ・消防署から「自衛消防の組織業務適切功労」・「広報業務協力功労」の2つの表彰を受けた。 ・「一時帰宅困難者対策マニュアル」「防災マニュアル」、洪水・テロ対策・コンプライアンス・ハラスメント・BCP・各グループ業務マニュアルの見直しを実施した。
	施設・設備管理に関する書類等の管理 ・業務報告(警備、清掃、設備)の作成(毎日)					×1		○		実地検査等	—	適正に実施		
	<評価理由> 施設の安全性は適切に確保されている。					<備考>								
財務	適切な財務運営・財産管理が行われているか					配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
	収支状況(安定的な運営) ・利用料金収入					×2		○		様式1 事業報告(3(1)①) 様式2 事業収支 様式3 経営状況分析指標	・利用料金収入 275,864千円	・利用料金収入 281,676千円	102.1%	・利用料金収入は、計画275,864千円に対し実績281,676千円で達成率102.1% ・委託先への業務内容を精査し、新型コロナウイルス感染防止対策で発生する追加消毒作業等を既存経費内で実施した。

財産の状況	経理処理(書類等の管理含む) ・経理の明確な区分、経理状況の明確化 ・帳簿、関係書類の整備、保存	×1		○		実地検査	—	適正に実施			
	所有財産の管理 ・保全物品整理簿の整備	×1		○		様式12 物品整理簿 様式13 購入物品整理簿、実地検査	—	適正に実施			
	<評価理由> ・利用料金収入は、計画275,864千円に対し実績281,676千円で達成率102.1%					<備考>					
事業効果	利用の状況				根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項		
		展示室の利用状況(稼働率)	×2	○	様式1 事業報告(3(1)①) 様式8 利用実績	1日(9-21時) 38.0% 【参考】 日中(9-17時) 57.0%	1日(9-21時) 43.4% 【参考】 日中(9-17時) 58.0%	1日 114.2% 【参考】 日中 101.8%	・目標 38%(9-21時)、57%(9-17時)に比し、実績43.39%(9-21時)、57.96%(9-17時)となり、目標達成した。また、令和3年度よりも大幅に改善した(R3年度:29.6%(9-21時)、38.9%(9-17時))		
		会議室の利用状況(換算日数)	×1		○	様式1 事業報告(3(1)①) 様式8 利用実績	1日(9-21時) 147.2日 【参考】 日中(9-17時) 188.1日	1日(9-21時) 126.1日 【参考】 日中(9-17時) 148.6日	1日 85.7% 【参考】 日中 79.0%	・会議室の換算日数は、目標147.23日(9-21時)、188.07日(9-17時)に比し、実績126.10日(9-21時)、148.64日(9-17時)となり、令和3年度より大幅に改善した(令和3年度:95.1日(9-21時)、115.9日(9-17時))	
		施設設置目的の実施状況(中小企業利用件数等)	×2		○	様式9 展示室受付順位別利用実績	60.0%	55.8%	93.0%	全催事の55.8%が中小企業による。	
		利用促進への取組 ・新規利用及びリピータの獲得	×2		○	様式1 事業報告(2(1)①~③、2(2)②)	新規展示会等の誘致強化、施設の利用案内ゾールの充実	実施		・両館合同で、WEB上でのリステイング広告実施や、関係機関・金融機関・自治体、イベント会社や装飾会社等への営業を新たに行い、新規顧客の確保に努めた。 ・結果として、16社(利用企業数全体の22.6%)の新規利用企業を確保できた(前年度比159.3%増) ・空室情報閲覧の新規登録先(民間・主催者・展示会835件/年、任意団体・主催者・展示会310件/年)へeメールにて利用検討促進メールを発信 ・HPに主催者ページと来場者ページを設け、それぞれ必要とするページにすばやくたどり着ける案内を行った。年間アクセス数:724,632(昨対:141.8%) ・館内の新型コロナウイルス対策を動画にして公開し、利用者・来場者が安心して利用できるよう対策をとった。 ・併せて、空室照会者へのフォローメールや、定期順位受付前の案内送付等をこまめに実施し、既存顧客の維持を図った(PR活動実績:資料②)	
<評価理由> ・展示室の稼働率:達成度114.2% ・両館合同で金融機関、自治体、イベント会社や装飾会社等への営業を新たに行い、新規顧客の確保に努めた。結果として、16社(利用企業数全体の22.6%)の新規利用企業を確保できた(前年度比159.3%増)					<備考>						

	事業内容、職員対応等について、利用者の反応はどうか	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
サービス内容の向上	事業の企画、実施、成果 ・自主事業の実施(展示・商談会等) ・都の他施策との運動性、協調性等	×2		○		様式1 事業報告(2(3)①②③)	自主企画催事の開催、他の支援機関との共催事業	実施		・公社自主企画展示会「東京くらしのフェスティバル2022」を開催した。当日は、同時開催の台東区産業フェア等との連携もあり、延べ1,154名が来場した。 ・台東区民会館を利用して同時開催した「公社中小企業表彰式」にて、優れた製品や技術を有する都内中小企業のPRを実施した。 ・1階ロビーに伝統工芸品の展示コーナーを設置し、東京の伝統工芸品の情報発信をおこない販路開拓支援を行った。(東京都、台東区協同事業)	
	サービス向上に向けた取組 ・利用者ニーズの把握 ・サービス向上の検討及び情報共有体制 ・搬出入効率化の推進	×2		○		様式1 事業報告(2(2)①,④,4(4)①,②,(6),(7)②)	利用者要望を的確に把握、要望等をサービスに活かす取組等	実施		・アンケートの配布、回収による要望の吸い上げ、「搬出入調整会議」「商談」「下見」を通して気軽に要望を開ける場を提供した。 ・浜松町館と合同で、利用者、装飾業者の代表者に対して「産業貿易センター運営会議」を開催し、ご意見、ご要望を伺った。 ・把握した要望等については、基幹システムに、利用履歴、要望、課題、要望を蓄積し利用者のニーズ、意向を把握し、適切にサポートを行うとともに、CS会議において対応策の協議を実施した。	
事業効果	特色ある事業の実施 ・利用者へのサポート、展示商談会のコーディネート等	×1	○			様式1 事業報告(2(2)③)	展示会や会議等のトータルサポートの強化	実施		・同業種・異業種、あるいは関連のある業種の展示会同時開催のコーディネートをして12件行い、当該展示会・商談会への集客拡大を図り、より多くのビジネスチャンスの創出に努めた。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止の三密回避や、館外の待機列を防ぐことによる近隣住民への配慮のため、空いている展示室を活用した運営を主催者へ提案した。 ・イベントサポート業者(設営業者、清掃業者、ケータリング業者等)の紹介や特に利用者からの要望が強い周辺案内等を用意してサポートを行った。 ・HP閲覧者向けのイベント検索機能を設け、利用者の効用を高めた。	
	利用者サービスに資する自主事業の取組 ・備品類の充実、備品貸出サービス等の事業実施	×1		○		様式1 事業報告(2(3)③,4(7)③)	備品貸出サービス等の提供	実施		・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、換気送風用大型扇風機(展示室用)・非接触型体温計・人数カウンター、小型サーキュレーター、アクリル板の貸出を行った。 ・有線・無線LAN・インターネット・プロジェクターについては事前に接続テストを実施。	
	利用者の満足度(利用者アンケート)	×2	○			様式4 利用者アンケート結果	アンケートの実施	大変満足・満足・どちらかと言えば満足計 98.1%		配布294件 回収159件 回収率54.1%	
	質の高いサービス提供のための提案 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮、外国語対応の推進等	×2	○			様式1 事業報告(4(7))	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮等	実施		・視覚障害者向けに音声ガイド地図サービスを継続し、ICTを活用したサービスによるユニバーサル化を進め、英語対応も実施した。 ・耳の不自由な方向向けに、筆談ボードを受付に設置した。 ・公式ウェブサイトで多言語化ページを提供。施設案内、周辺情報、アクセス、FAQページを英語、中国語簡体字、韓国語に対応した。 ・帰宅困難者対応時用に、英語・中国語の案内を準備。 ・外国人来場者とのコミュニケーションのため、AI翻訳機を導入した。 ・「利用案内」と公式ウェブサイトにてバリアフリーに特化した情報を継続して掲載。	
	苦情等への対応 ・現場指導、調整及び注意喚起の実施	×1		○		様式1 事業報告(4(5)) 様式5 事故・故障対応一覧	苦情などへの対応	実施		・苦情や施設トラブルがあった場合は、翌朝の朝礼やシステムの掲示板で迅速な情報共有を実施している。また、運営担当者のミニミーティングで事前対応策を検討し、再発防止につなげている。 ・利用者に対してはアンケートの配布・回収、来場者に対してはご意見箱の設置により「苦情」の吸い上げを実施。 ・館長及び課長代理によるCS会議を定期的に開催して「苦情・要望」案件を共有検討し、来場者から催事主催者に対する要望は主催者に伝えて、誠実迅速な課題解決を図っている。	
	<評価理由> ・利用者満足度:98.1% ・把握した要望等については、基幹システムに、利用履歴、要望、課題、要望を蓄積し利用者のニーズ、意向を把握し、適切にサポートを行うとともに、CS会議において対応策の協議を実施した。						<備考>				

合計点 52点	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)
	配点×1	2点×4項目	1点×14項目	0点×1項目
	配点×2	4点×4項目	2点×7項目	0点×0項目
	(小計)	24点	28点	0点

一次評価結果	得点 52点	標準点	S (55点以上)	A (52～54点)	B (37～51点)	C (36点以下)
	A	19項目×1点 ×1(配点) +11項目×1 点×2(配点) = 41点	標準点の1.33 倍(小数点以下 切上)点以上	S-1点以下 標準点の1.25倍 (小数点以下切 上)以上	A-1点以下 C+1点以上	標準点の0.88 倍(小数点以下 切捨)点以下

特記事項	<p>(特に評価すべき点)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示室の稼働率であるが、目標38%に対して実績43.4%と目標を達成。また、利用者満足度98.1%</li> <li>・利用料金収入は、計画275,864千円に対し、実績281,676千円で達成率102.1%</li> <li>・両館合同で金融機関、自治体、イベント会社や装飾会社等への営業を新たに行い、新規顧客の確保に努めた。結果として、16社(利用企業数全体の22.6%)の新規利用企業を確保できた(前年度比159.3%増)</li> <li>・同業種・異業種、あるいは関連のある業種の展示会同時開催のコーディネートを12件行い、当該展示会・商談会への集客拡大を図り、より多くのビジネスチャンスの創出に努めた。</li> <li>・事務所のペーパーレス化に取組み、紙の使用量を対前年度比で60%削減。</li> </ul>
------	---

多摩産業交流センター指定管理者一次評価 (資料7)

大項目	項目	確認項目	評価基準								
			●水準を上回る=達成度:概ね110%以上 ●水準どおり ●水準を下回る=達成度:概ね90%以下				※定性的な指標は、事業目的に合致する効果的な取組を新規で行った場合は、水準を上回る。適正に実施した場合は水準どおり。事故・協定違反が発生した場合は水準を下回る。				
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
		施設・設備の保守点検(内容・回数等) ・定期点検及び保守等	×1		○		様式5 建物管理業務実績	-	16項目		
		施設の清掃(施設の清潔さ)及び警備 ・床清掃(毎日)ほか(項目) ・警備人数(人/月)	×1		○		様式5 建物管理業務実績	-	実施		
		人員配置(配置数、配置箇所、専門性等) ・事業責任者の配置ほか	×1		○		様式1 事業報告(1(1))	11名	12名		・館長、副館長、予約管理6名、コーディネーター2名(非常勤)、運営管理1名、営業広報1名の人員合計12名体制
		人材育成の取組(各研修参加、訓練実施)	×1		○		様式1 事業報告(1(2))	研修体系の確立と関連資格取得の奨励	実施		・ビッグサイトで実施されている展示会の実地研修 ・JCS(株)で運営している他施設の視察研修 ・個人情報保護を中心としたコンプライアンス研修 防火防災管理者講習終了(2名)、2級電気工事士資格取得(1名)、衛生推進者講習終了(3名)
		組織としての指定管理業務への関与 ・本社との連携体制の構築 ・JV内の連携体制の構築による効用最大化	×1		○		様式1 事業報告(1(4))	本社と連携、JV内の連携体制の構築による効用最大化	実施		JCS(株)本社の直轄部門であるMICE推進部、及び財務経理部・法務部・広報部等が必要に応じてバックアップや第三者チェックを行う。
		提案事業等の実施	×1		○		様式1 事業報告(5(1)②)	-	実施		清掃ロボットによる清掃員確保の解消
		利用者の平等利用への取組 (定期優先受付・随時受付)	×1		○		様式1 事業報告(4(1))	定期優先受付・随時受付	実施		
		他機関等との連携 ・東京都八王子合同庁舎及び八王子市保健所との連携による利便性の向上	×1		○		様式1 事業報告(5(2)⑤)	他機関等との連携	実施		現地機動班参集拠点を効率的に運営できるよう、関係機関と調整
		地域や地元住民との良好な関係の構築	×1		○		様式1 事業報告(5(2)~(4))	地域貢献活動、地元住民との良好な関係	実施		・同種の施設と比べて住宅地が近接しており、きめ細かな対応が求められる ・八王子駅周辺滞留者対策推進協議会に加盟 ・八王子消防署・八王子警察署を相互訪問し、情報共有 ・施設利用者の車両で近隣道路が渋滞した例は現状報告なし
<評価理由> 適切な管理の履行がされている。							<備考>				

管理状況	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		個人情報保護、情報公開の取組及び利用記録等各種情報の管理・情報の適正管理等	×1		○		実地検査等	適正管理	実施		
		環境配慮への取組	×1		○		様式1 事業報告(3(1)③)	環境保全への配慮	実施		・中央監視システムの空調スケジュール設定による細かなON・OFF。 ・入居機関連去確認後の中央監視システムによる空調機の切り忘れ確認。
		手続のデジタル化	×2		○		様式1 事業報告(4(1)①)	手続のデジタル化	実施		
	各種法令の遵守及び都への報告・連絡	×1		○		実地検査等	迅速に対応	実施			
	<評価理由> 個人情報保護・環境配慮への取組・手続きのデジタル化など適正に実施されている。				<備考>						
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		施設設備の安全性の確保 ・適切な工事、修繕の実施	×1		○			適切な工事・修繕の実施	実施		
防災、防犯への配慮及び緊急時対策 ・自主防災組織の設置と定期訓練 ・防災マニュアルの改訂と周知 ・警備体制の確保・避難誘導の体制づくり		×1		○		様式1 事業報告(5(2))	自主防災組織の設置・訓練、防災マニュアルの策定、確実な避難誘導の体制づくり	実施			
施設・設備管理に関する書類等の管理 ・業務報告(警備、清掃、設備)の作成	×1		○		実地検査等	—	適正に実施				
<評価理由> 各項目について適性に実施されている。				<備考>							

見状理管	財務・財産の状況	適切な財務運営・財産管理が行われているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		×2	○			様式2 事業収支 様式3 経営状況分析指標	利用料金収入 16,262千円	利用料金収入 44,752千円	275.2%		
		×1		○		実地検査	—	適正に実施			
		×1		○		物品整理簿・実地検査	—	適正に実施			
		<評価理由> 利用料金収入が計画値を大きく上回り、安定的な施設運営がされている。				<備考>					
事業効果	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか									
		配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項	
		×2	○			様式1 事業報告(3(1)①) 様式6 利用実績	10.5%	30.0%	285.7%		
		×2	○			様式1 事業報告(3(1)①) 様式6 利用実績	10.2%	40.9%	401.0%		
		×2		○		様式7 展示室受付順位別利用実績	-	-			
		×2		○		様式1 事業報告(2(4))	個別内覧開催など	実施		・施設開業前より個別対応の内覧を数多く実施した。	
		<評価理由> 展示室・会議室とも稼働率が計画値を大きく上回り、開業初年度から順調な滑り出しとなった。				<備考>					

事業内容、職員対応等について、利用者の反応はどうか	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)	根拠資料	計画	実績	達成度	特記事項
事業の企画、実施、成果 ・自主事業の実施(展示・商談会等) ・都の他施策との運動性、協調性等	×2	○			様式1 事業報告2(3)②	自主事業実施	自主事業催事の企画・キッチンカーの出店体制整備		・キッチンカーの出店体制を整備
サービス向上に向けた取組 ・利用者ニーズの把握 ・サービス向上の検討及び情報共有体制 ・搬出入効率化の推進	×2		○		様式1 事業報告4(2)	利用者要望を的確に把握、情報共有体制の構築	実施		・アンケートの配布・回収 ・アンケートを踏まえて案内サイン増設を実施
特色ある事業の実施 ・利用者へのサポート、展示商談会のコーディネート等	×1	○			様式1 事業報告2(2)	ホームページコンテンツの充実・イベント運営目線の提案	実施 Twitterの開設		・施設Twitterの開設(イベント情報、休場日、キッチンカー情報の発信等) ・設営計画等におけるJCS運営目線からのアドバイス等
中小企業者、研究機関、大学等及び行政機関の協働による産業振興を目的とした研究及び事業の支援	×1		○		様式1 事業報告2(1)①	産学・産産連携のために必要な準備・各機関との関係構築	実施		・首都圏産業活性化協会(TAMA協会)、大学コンソーシアムとの関係構築 ・東京都立大学、工学院大学、東京工科大学、東京高専等との具体的な案件を通じたネットワーク作りを実施。 ・東京工科大学主催の産官学連携による八王子隣接地域交流会等へ出席
広域的な産業交流を促進する事業の支援	×1	○			様式1 事業報告2(1)②	広域連携のために必要な準備・各機関との関係構築	実施		・多摩地区全市の市役所産業振興課・商工会を訪問し、当施設についての告知宣伝活動を通してネットワーク構築に努める ・産業のまちネットワーク総会での登壇・当施設のプレゼンテーション
利用者サービスに資する自主事業の取組 ・備品類の充実、その他サービス等の事業実施	×1	○			様式1 事業報告2(3)①	備品貸出サービス等の企画・準備	実施		当施設は新築施設であり、展示施設の利用に慣れていない利用者も多いため、設営撤去サービスなど、当初利用者が実施する想定の内容も施設側で実施するサービスを、実態に合わせて数多く実施
利用者の満足度(利用者アンケート)	×2	○			様式4 利用者アンケート結果	アンケートの実施	大変満足・満足・どちらかといえば満足計100.0%		回答数29件、総合評価回答無2件 回答比率は展示室利用者の約3割程度
質の高いサービス提供のための提案 ・バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮、 ・外国語対応の推進	×1		○		様式1 事業報告5(1)①	バリアフリー・ユニバーサルデザインへの配慮、外国語対応の推進	実施		・公式ウェブサイトについては英語の簡易ページを掲載。
苦情等への対応 ・現場指導、調整及び注意喚起の実施	×1		○		様式1 事業報告4(2)	苦情などへの対応	実施		・利用者に対してはアンケートの配布・回収により「苦情」の吸い上げを行っている。
<評価理由> 自主事業については、計画されていた催事の企画だけではなく、キッチンカーの出店体制を整備した。そのほか、利用者実態に合わせて計画に含めていなかった自主事業によるサービスを数多く実施した。 また、多摩地区全市の市役所・商工会を訪問し、宣伝営業活動を通して広域的ネットワーク構築に努めたほか、利用者アンケートで、どちらかといえば満足まで含めると、100%の好意的な評価を得ることが出来た。	<備考>								

事業効果  
サービス内容の向上

合計点 54点	配点	水準を上回る(2点)	水準どおり(1点)	水準を下回る(0点)
	配点×1	2点×3項目	1点×20項目	0点×0項目
	配点×2	4点×5項目	2点×4項目	0点×0項目
	(小計)	26点	28点	0点

一次評価結果	得点 54点	標準点	S (55点以上)	A (52～54点)	B (37～51点)	C (36点以下)
	A	23項目×1点 ×1(配点) +9項目×1点 ×2(配点)= 41点	標準点の1.33倍 (小数点以下切 上)点以上	①S-1点以下 ②標準点の1.25 倍(小数点以下 切上)以上	①A-1点以下 ②C+1点以上	標準点の0.88倍 (小数点以下切 捨)点以下

特 記 事 項	<p>(特に評価すべき点) 施設稼働率について計画値を大きく上回る実績となり、開業初年度から順調な滑り出しとなった。また、自主事業によるサービスを計画よりも充実させ、利用者アンケートにおいて100%の好意的な評価を得ることができた。さらに、多摩地区全市の市役所・商工会を訪問し広域的ネットワークの構築に努めた。</p>
------------------	---

大項目	中項目	確認項目				評価							
		項目	内容	計画	(計画値参考)	実績(R4)	達成率	確認事項 ◎:報告書 ○:実地調査	配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
管理状況	適切な管理の履行	協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか											
		1	施設・設備に関する保守点検及び書類の管理等	設備保守点検(電気・空調・消防・建設・下水設備等)性能検査(ストレージタンク等)各種測定(産廃排出物等)等業務報告書の管理	12回/年 外 1回/年 外 2回/年 外 毎日	指定管理者募集要項別添特記仕様書(資料5)	12回/年 外 1回/年 外 2回/年 外 毎日	100%	◎	×1			
		2	施設の清掃	日常清掃 定期清掃(フロアー洗浄・ワックスかけ・ガラス等) 特別清掃(照明器具・モニュメント等)等	隔日・随時 6回/年 外 1回/年 外	指定管理者募集要項別添特記仕様書(資料5)清掃業務仕様書	隔日・随時 6回/年 外 1回/年 外	100%	◎	×1			
		3	人員配置	相談員(就職支援アドバイザー等)等の配置	総合相談:6ブース ヤング:20ポスト ミドル:32ポスト 女性:5ポスト 多摩:12ポスト 多摩ブランチ:2ポスト	年度協定	総合相談:6ブース ヤング:20ポスト ミドル:32ポスト 女性:5ポスト 多摩:12ポスト 多摩ブランチ:2ポスト	100%	◎	×1			
		4	人材育成の取組	職別研修 課題研修 実務研修	3回/年以上 4回/年以上 2回/年以上		職別研修 9回 (新任職員研修、新任職員フォローアップ研修、社会経済事情研修、企画(改善)提案研修(他)) 課題研修 4回 (接遇研修、接遇研修(新任職員向け)、情報セキュリティ・個人情報保護研修、メンタルヘルス研修) 実務研修 3回 (経営管理研修、キャリア・カウンセラー養成研修、普通救命講習) ※財団において主催したもののみ	300% 100% 150%	◎	×1			
	【特記事項】												
	安全性の確保	施設の安全性は確保されているか											
		5	防災・防犯への配慮	消防設備保守点検等 避難訓練 施設内巡回点検	3回/年 1回/年 9回/日(月～土)、4回/日(日・祝日)	指定管理者募集要項別添特記仕様書(資料5)設備管理・保守業務仕様書	消防設備保守点検等:3回 避難訓練:1回(従来の訓練内容、避難経路及び自衛消防隊の役割を全職員及び入居機関へ周知。また、しごとセンタービルに初めて勤務した職員を対象に避難階段を実際に使用した訓練を実施。) 施設内巡回:10回/日(月～土)、4回/日(日・祝日)※改修工事中のフロアは除く。	100% 100% 107%	◎	×1			
		6	緊急時対策	緊急時連絡体制の整備 BCP等の整備	緊急時連絡体制の整備 BCP等の整備		緊急時連絡体制の整備 各階の避難経路がわかるように、各階に、避難経路図の掲示(継続)	-	◎	×1			
	【特記事項】 ○大規模改修工事による建物内部でのフロア移転に対応し、施設内巡回点検ルートの変更や利用者の誘導案内を行うだけでなく、工事定例会に出席して、改修工事を行っている場合でも災害発生時の安全確保について確認を行う等、防災及び防犯について公的施設としての責任を認識し、積極的に取り組んでいる。年度末には、業務に支障をきたすことなく、事務機能の内部移転をおもむね完了させた。												
	法令等の遵守	個人情報保護、報告等は適切に行われているか											
		7	個人情報保護の取組	個人情報保護管理責任者の設置 情報セキュリティ研修の実施 データアクセスのID制御の実施 個人情報保管場所の施錠	規定に基づく設置 研修:1回/年 ID制御の実施 施錠	基本協定	「個人情報の保護に関する規程」「個人情報保護基本方針」に基づき、個人情報保護管理責任者及び個人情報取扱責任者を設置 情報セキュリティ・個人情報保護研修:1回 ID制御及び施錠の実施	100%	◎	×2			
		8	情報公開の取組	情報公開(主要事業指標、財務指標)の実施	事業報告:1回/年 財務指標:1回/年		「監理団体の経営の透明性の向上について」18総行革監第33号	100%	◎	×1			
		9	環境配慮への取組	資源リサイクルの実施 省エネルギー対策の実施	ゴミ分別の徹底 電力使用量削減の取組		ゴミ分別の徹底 送風設備、空調機器の細かな運転調整、LED照明の導入等 ※電気使用量の平成22年度比(震災発生前年)32%減	-	◎ ○	×1			
		10	各種法令等の遵守	研修の実施(汚職防止・人権・情報管理等) 委託事業者への法令順守の取組	3回/年 実施		3回(新任職員研修(コンプライアンス推進、情報セキュリティ・個人情報保護)、情報セキュリティ・個人情報保護) 委託事業者への法令順守の取組(日常指導)	100%	◎	×1			
11		都への報告・連絡	実績報告書の提出 事業報告書の提出	1回/月 1回/四半期	基本協定書第17条	実績報告書の提出:1回/月 事業報告書の提出:1回/四半期	100%	◎	×1				
【特記事項】 ○「7 個人情報保護の取組」について、コンプライアンス推進月間に合わせ、「情報管理に係る事故防止週間」を設定し、個人情報及び重要情報を含む文書の外部への発出に関する意識強化を図った。													
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか												
	12	収支状況	収入計画(利用料金) 支出計画	1,570千円 5,852,437千円	予算関係資料(部)歳入内訳1 1)合算 年間事業計画書	1,914千円 5,261,271千円	122% 90%	◎	×1				
	13	適正な会計処理	会計監査人による監査の実施 帳簿、関係書類の整備 自己点検の実施	1回/年 帳簿整備 1回/年	しごと財団財務規定第58条	会計監査人による監査の実施:1回 帳簿、関係書類の整備 自己点検の実施:1回	100%	◎	×1				
	14	都有財産の管理	台帳の整備・更新(備品・物品・電気子メーター・水道子メーター等)	各台帳の整備・更新	施設設備及び物品 管理業務実施要領	台帳の整備・更新	-	◎	×1				
【特記事項】													

大項目	中項目	確認項目					評価					
		項目	内容	計画	(計画値参考)	実績(R4)	達成率	確認事項 ◎:報告書 ○:実地調査	配点	水準を上回る	水準どおり	水準を下回る
事業効果	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか										
		15-1	若年者の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙1のとおり		◎	×2		○
		15-2	中高年の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙2のとおり		◎	×2		○
		15-3	高齢者の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙3のとおり		◎	×2	○	
		15-4	総合相談における支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙4のとおり		◎	×2		○
		15-5	女性の雇用就業支援の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙5のとおり		◎	×2		○
		15-6	しごとセンターの多摩地域展開の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙6のとおり		◎	×2		○
		15-7	しごとセンターの管理運営に関する事業の実施	事業計画書どおりの実施	別紙のとおり	年間事業計画書	別紙7のとおり		◎	×1	○	
		16	利用者の平等利用への取組(公平な利用者選定)	協定、実施要領等の遵守	協定、実施要領等の遵守	東京都しごとセンター提供施設等貸出要領	協定、実施要領等の遵守	118%	◎	×1	○	
		17	サービス向上に向けた取組	関係機関情報コーナーの設置 休憩コーナーの設置 サイン表示の充実等 出張カウンセリング・出張セミナー 顧客満足度調査、利用者の声コーナー等の設置等	左記と同じ	(選定時)事業計画書5(2)	出張カウンセリング・出張セミナー(ヤング156回)実施 顧客満足度調査の実施 ご利用者ご意見箱の設置及び対応の公表 コロナ対策として、以下の取組を実施 ①しごとセンター1階入口での来場者に対する検温およびアルコール消毒 ②各階のトイレにポンプ式ハンドソープを設置 ③セミナー等の定員や情報コーナーのパソコン設置台数の縮小によるソーシャルディスタンスの確保 ④相談コーナーでの相談終了後の、ブースやファイル、パソコン機器等の消毒		◎ ○	×2		○
	18	利用者数(環境の変化など外部要因を考慮)	貸出施設稼働率	52.0%	過去3か年の平均	61.2%	118%	◎	×1	○		
	19	利用促進への取組(広報、PR等)	メールマガジン・ホームページの更新、広報・PR活動等	メールマガジン:1回/月 ホームページの更新:随時 広報、PR活動の実施	(選定時)事業計画書5(3)	ホームページの更新:随時 広報、PR活動の実施 次年度のホームページ及びYouTubeでの配信に向けて、コーナー別にしごとセンター紹介動画を作成		○	×2	○		
	【特記事項】 ○「17 サービス向上に向けた取組」について、通年を通して常に新型コロナウイルス感染防止対策をとりながらしごとセンターの相談業務を継続して運営し、公的施設として利用者が安心して利用できるように取り組んだことを評価する。なお、関係機関情報コーナーや休憩コーナーの設置、サイン表示の充実等については、低層階の大規模改修工事により実施できなかったが、工事完了後の設置に向けて調整を進めた。 ○「19 利用促進への取組(広報、PR等)」について、オンライン広告を活用してオンライン登録者増に結び付けたことや、コーナー別に紹介動画を作成する等、利用者のニーズに対応した事業PRに取り組んだことを評価する。											
	利用者の反応	利用者の満足を得られているか。										
		20	利用者ニーズ把握	貸出施設利用者アンケート満足度 92.0%以上 東京しごとセンター利用者アンケート満足度 89.0%以上	貸出施設利用者アンケート満足度 92.3% 東京しごとセンター利用者アンケート満足度 88.9%	過去3か年の平均	100% 99%	◎	×2		○	
		21	苦情等への対応	事例検討会の実施	1回/月	各コーナーの事例検討(5回) シニアコーナーの事例検討(9回) ヤングコーナーの事例検討(12回) 計26回	217%	◎	×1	○		
	【特記事項】 ○貸出施設利用者アンケートでは、全ての利用者が総合的な満足度に対して「非常に満足」「満足」と答えており、利用者から高い評価が得られている。 ○アフターコロナの影響も受けて心理的に不安定な利用者からの意見や苦情の増加傾向に伴い、困難者事例が増加傾向であったため、各コーナーでの事例を共有する等、事例検討会を重ねて対応した。											
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか。										
		22	都の政策との運動に向けた取組	都との連携(しごとセンター運営会議等) 区市町村との連携(区市町村事例検討会・区市町村会議) センター内での連携(入居機関会議)等	しごとセンター運営会議:1回/月 区市町村事例検討会:2回/年 区市町村会議:1回/年 入居機関会議:2回/年		しごとセンター運営会議:1回/月 区市町村事例検討会:2回 区市町村会議:1回(書面開催) 入居機関会議:1回 (第1回は書面開催、第2回は令和4年2月末より一時滞在施設の指定解除により、一時滞在施設対応訓練が実施されなかったため、開催せず)	100% 100% 100% 100%	◎	×1		○
23		都の施策への協力	都の施策と連携した対応	随時		原油価格高騰等に係るオンライン就職支援、ローコードによるアプリ作成スキル習得支援事業を新たに開始するなど、都と密接に連携を図りながら事業を実施		◎	×2	○		
【特記事項】 ○「評価の特例」>「22 都の政策との運動に向けた取組」について、入居機関会議は、大規模改修工事の開始に伴い一時滞在施設の指定が解除されたことにより、2回目の実施を中止したことから達成率を100%に補正換算して評価する。 ○「23 都の施策への協力」について、雇用情勢に対応し、補正予算で開始した事業が多かったが、東京都の雇用就業支援事業を着実に実施したことを評価する。												

特記事項	<p>○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底しながら、窓口業務の運営、カウンセリングや各種セミナー、面接会等の事業を実施し、東京都の雇用就業支援事業を着実に実施したことは評価できる。</p> <p>○また、社会のDX推進の加速化に対応する雇用緊急対策として、ローコードによるアプリ作成スキル習得支援事業を実施した。 雇用情勢に応じて、都と連携を図りながら事業を展開したことは、高く評価できる。</p> <p>○建物維持管理については、大規模改修工事に伴う建物内部等でのフロア移転を行いながら事業運営を継続し、居ながら工事に対応した。また、しごとセンター多摩が立川市との合築による新築の建物へ移転し、新たに建物維持管理業務を開始した。公的機関の施設としての機能を維持しながら事業運営を適切に継続して実施したことは、高く評価できる。</p> <p>○引き続き、雇用情勢の変化や利用者の状況、今後の都施策等の展開に十分留意し、その時々状況に合致した、より効果的な事業の実施が行われるよう、積極的な取組に努められたい。</p>
要改善事項等	

### 【一次評価結果】

評点	標準点	評価基準				一次評価結果	得点	「S」・「A」 「B」・「C」
		S	A	B	C			
	40点	54点以上	50点以上 53点以下	36点以上 49点以下	35点以下	51点		

※ 評価項目が全て中位の評価を受けた場合の得点を標準点とする。

※ S : 標準点の1.33倍(小数点以下切上げ)点以上

A : 標準点1.25倍(小数点以下切上げ)点以上 かつ 標準点の1.33倍(小数点以下切上げ)-1点以下

B : 標準点0.88倍(小数点以下切捨て)+1点以上 かつ 標準点の1.25倍(小数点以下切上げ)-1点以下

C : 標準点の0.88倍(小数点以下切捨て)以下

### 【確認事項】

#### 1. 財務状況

指定管理者の財務状況	公益会計基準を導入しており、公認会計士による外部監査を取り入れ、適切に経理処理を行っている。また、財務状況についても問題ない。
------------	---

#### 2. 特命要件の継続

特命要件の継続	特命要件が継続しているか		
	特命の前提となった施設の位置づけ	(変更なし)	変更あり
	東京都政策連携団体の特性と果たした役割	団体の特性が十分に発揮されている	団体の特性が十分に発揮されていない
	都との連携体制	(実施)	未実施
	事業の取組状況・進捗度	(適切な実施状況)	不適切な実施状況
<評価の内容>			
<p>しごとセンターは、雇用情勢の変動や都民ニーズに応じて、機動的に事業を行う施設であり、特命の前提となった施設の位置づけに変更はない。</p> <p>また、雇用就業分野における唯一の都の政策連携団体として、高齢者や障害者の就業支援のノウハウを活用しながら国や都、民間事業者等と連携した事業展開を行っており、特命要件は継続している。</p>			

区分	規模(概ね)	内容	実績(R4)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
若年者の雇用就業支援								
若年者の雇用就業支援事業								
様々な職業情報の提供		職業適性診断システムの導入、履歴用図書及び求人情報誌等の整備・充実等	実施	100%		○		
就職スキルアップ支援								
就職支援アドバイザー	20ポスト	求職者への個別就職指導(カウンセリング、導入相談等)、グループカウンセリングによる就職指導、ハローワーク等連携機関との連絡、調整若者しごとホットラインの実施等	20ポスト	100%		○		
出張型支援	120回	公的機関を活用することに対して消極的な層や無関心な層、就職活動に自信を喪失している層に向けて、しごとセンターのサービス出張型を提供する。併せて新規登録を促し、未所を誘導する。	156回	130%	○			
就活実践力養成講座	100回	就職に役立つ知識やスキルを学ぶことができる1回完結型セミナーを開催	150回	150%	○			
能力開発コース	50人	資格等を活用した就職を希望される方向けに資格取得等のための支援講座等を開催	18人	36%		○		
若年者就職カアップ事業	100人	無職または非正規雇用者として働く若者に対し、コミュニケーション等の基礎能力や職務能力を向上させるためのプログラムを提供	93人	93%		○		
若年者早期就職支援事業	252人	非正規雇用者として働く若者に対し、短期間のグループワークと個別カウンセリングの組み合わせ及びU-35と連携したメニューを提供	228人	90.5%		○		
若者と企業マッチング支援								
合同就職面接会	4回	若年者を対象とした合同面接会を開催	4回	100%		○		
合同企業説明会	若年者向け合同企業説明会 10回 新卒向け合同企業説明会 6回	大企業指向等によるミスマッチ解消のため、若年者の採用に意欲的な中小企業と若年者が交流できる合同企業説明会を実施	若年者向け合同企業説明会 10回 新卒向け合同企業説明会 6回	100%		○		
中小企業見学	50回	中小企業の理解を促すため、企業に赴いて、中小企業の現場を体験できる見学会を実施	98回	196%	○			
合同企業説明会直前対策セミナー	10回	合同企業説明会を効果的に活用し、応募の促進につなげるための、直前対策セミナーを実施する。	10回	100%		○		
面接対策セミナー	13回	面接会等を通じた就職決定を支援するため、就職面接会の上手な活用方法と、模擬面接をセットにしたセミナーを実施する。	13回	100%		○		
業界職種研究ライブラリーの設置	企業研究や職種研究に特化したカウンセリングを遂げた求職者への情報提供 登録企業数 1000社 業界職種勉強会 24回	都内中小企業等の事業内容や自社PR等の公開及びセミナーと企業訪問をセットにした業界職種勉強会の実施	企業研究や職種研究に特化したカウンセリングセミナー 1,136社 登録企業数 1,136社 業界職種勉強会 24回	114% 100%	○			
採用・育成サポートセミナー	12回	合同企業説明会等を通じた採用ノウハウを伝達するセミナーを実施する。また、早期離職防止のため、人材育成に力を入れている企業の社長等を講師に迎えセミナーを実施する。	12回	100%		○		
採用・育成に関する好事例の提供	40回	若年者の採用や人材育成に関する企業の好事例を取材し、ライブラリー登録企業に対してメールマガジン配信する。	40回	100%		○		
若年者の職場定着支援事業								
社会人基礎力プログラム	基礎編 3回 応用編 3回	中小企業に在職する概ね29歳以下の正社員のうち、入社1年以内の者に対し、社会人としての基礎力向上を支援するメニューを実施	基礎編 3回 応用編 3回	100%		○		
キャリア形成プログラム	基礎編 3回 応用編 3回 職種別セミナー 3回	中小企業に在職する概ね29歳以下の正社員のうち、入社3年以内の者に対し、キャリア形成等を支援するメニューを実施	基礎編 3回 応用編 3回 職種別セミナー 3回	100%		○		
参加者交流会	3回	経営者や先輩社会人との意見交換や同世代とのグループワーク等、交流会を実施	3回	100%		○		
育成担当者向け早期離職防止セミナー	2回	若手社員の育成担当者向けに早期離職を防止するための人材育成ノウハウ等を提供	2回	100%		○		
管理者向け早期離職防止セミナー	2回	管理者向けに早期離職を防止するための人材育成ノウハウ等を提供	2回	100%		○		
早期離職防止ガイドブック	2000部	早期離職防止のノウハウ等をまとめたガイドブックを作成し配布	2000部	100%		○		
就活バックアップ事業	大学等就職支援者向けセミナー 2回 企業交流会 2回 保護者向けセミナー 1回 保護者向け中小企業見学 2回	新卒者等の就職活動の円滑な支援を促進するため、大学等就職支援者及び新卒者等の保護者を対象とした事業を実施	大学等就職支援者向けセミナー 2回 企業交流会 2回 保護者向けセミナー 2回 保護者向け中小企業見学 2回	114%	○			
高校生向け就業意識啓発講座	20校	都内高校に講師を派遣して、高校生の就業意識を醸成する内容の啓発講座を、学校の要望に沿った形で実施	25校	125%	○			
就活アプローチ事業	プログラム 4回 セミナー 2回	就職活動に踏み出せない若年者に対し、専門的なノウハウを有する専門機関を活用し、支援メニューを実施	プログラム 4回 セミナー 2回	100%		○		
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
新卒向け緊急合同就職面接会								
新卒向け緊急合同就職面接会	2回	民間の職業紹介事業者の求人開拓機能を活用した合同就職面接会を開催	2回	100%		○		
項目数			計 26 項目	6	19	1	31点	
点数 (標準点 26 点)			33点以上:水準を上回る 23点から32点:水準どおり 22点以下:水準を下回る	12	19	0	評価:水準どおり	

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%~91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切捨)」点以上  
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1点以上 かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切捨)-1点  
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R4)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
中高年の雇用就業支援								
中高年の雇用就業支援事業								
アドバイザーによる支援								
キャリアカウンセラーの配置	32ポスト	就職支援アドバイザーとしての役割を持つキャリアカウンセラーを配置 求職者に対する個別カウンセリングを実施 求人情報等の提供や職業紹介を実施	32ポスト	100%		○		
求職活動支援セミナー								
小規模セミナー	372回	「自己理解促進」、「就職対策支援」、「応募活動支援」、「自律活動支援プログラム」、「在職者支援」を開催	508回	137%	○			
大規模セミナー	6回	求人市場の現状確認や今後の求職活動の進め方などに関するセミナーを開催	6回	100%		○		
能力開発コース								
再就職基礎講座	300人	求人市場で求められている職業人としての能力を身につける短期講座を開催	951人	317%	○			
スキルアップ講座	200人	パソコン操作技術に乏しい求職者に対し、ビジネスで役立つパソコン技術を身につける講座を開催	953人	477%	○			
資格取得等支援講座	200人	資格等を活用した就職を希望される方向けに資格取得等のための支援を実施	100人	50%		○		
雇用就業情報の提供		求職活動に活用できる情報を提供	実施	100%		○		
小規模就職面接会の実施	6回	隔月開催で小規模の合同就職面接会を開催	6回	100%		○		
ミドルアフターのキャリアチェンジ支援								
ジョブコーディネーターによる支援	3ポスト	就職困難層へきめ細やかなサポートを行い、キャリアチェンジを促すとともに、企業と求職者とのマッチングを実施	3ポスト	100%		○		
キャリアチェンジセミナー	180人	ミドルアフター層向けに、キャリアチェンジを念頭に置いたセミナーを実施	191人	106%		○		
職種理解・職場体験プログラム	60人	キャリアチェンジセミナーの受講者を対象に、企業内実習の機会を提供	162人	270%	○			
合同企業説明会	180人	キャリアチェンジ促進を目的とした合同企業説明会実施	93人	52%		○		
非正規就業者向けアブローチセミナー	360人	就職氷河期世代を対象に、各自のマネープラン作成、世代別の生活設計、キャリアアップ等についてのセミナーを実施	233人	65%		○		
ミドル版ワークスタート支援プログラム	45人	中高年の就職困難層を対象に、就労準備支援として、自信回復、職場で必要な基礎能力の付与及び就労体験等を組み合わせたプログラムを提供	47人	104%		○		
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
非正規向け特別支援								
非正規向け求職活動支援								
非正規向け求職活動支援セミナー	6回	正社員の経験が少ない求職者を対象に、求職活動に必要な情報を提供	6回	100%		○		
非正規向けパソコン講座	スキルアップ講座 130人 資格取得等支援講座 80人	就職にあたっての必須とされているパソコンスキル等を付与する講座を開催	スキルアップ講座 161人 資格取得等支援講座 136人	124% 170%	○			
就活エクспレス事業								
グループワーク	560人 (飯田橋500人、多摩60人)	キャリアの振り返り(「強み」の発見)や職場訪問等による中小企業理解、応募書類作成等、5日間のグループワークを実施	340人 (飯田橋285人、多摩55人)	61%		○		
ジョブコーディネーターによる支援	8ポスト	中小企業の採用や人材活用等に精通した者を配置し、個別の求人開拓や正社員登用型求人の活用によりマッチングを支援	9ポスト (飯田橋7ポスト、多摩2ポスト)	113%	○			
合同面接会	飯田橋12回、多摩6回	非正規雇用経験者の正社員採用に意欲的な企業を開拓し、合同面接会を開催	18回 (飯田橋12回、多摩6回)	100%		○		
短期集中コース	160人 (飯田橋120人、多摩40人)	グループワークへの継続参加が困難な者に対し、短期集中型セミナー(1日)を実施	126人 (飯田橋103人、多摩23人)	79%		○		
項目数			計 21 項目		6	10	5	
点数 (標準点 21 点)			27点以上:水準を上回る 19点から26点:水準どおり 18点以下:水準を下回る		12	10	0	22点 評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%~91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上  
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点  
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R4)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
高齢者の雇用就業支援								
高齢者の雇用就業支援事業								
中小企業向け人材開発								
人材開発コースの開発等	1プロジェクト 1コース 1団体	協働関係団体から推薦された委員等で構成する人材確保共同PT推進委員会、コース開発(改善)PT委員会を設置し、人材開発コースを開発・改善 新たな協働団体の開拓及び可能性の調査を実施	1プロジェクト 1コース 1団体	100%		○		
人材開発コースの実施	20コース	中小企業向け人材開発コースの実施 コース説明会の開催、コース実施推進員の設置 人材開発コース普及啓発リーフレットの作成	20コース	100%		○		
中小企業向けエキスパート人材開発プログラム	4回	中小企業団体の協力により、中小企業に再就職を目指すために必要な基礎知識や働き方を身につけるための講習を実施 「人材情報」(修了生情報)の更新及び参加募集	4回	100%		○		
就業支援総合セミナー								
定年退職後の働き方を考えるセミナー	6回・個別相談	再就職活動のプロセスを網羅した内容に、高齢者特有の再就職状況を加味した総合的なセミナーを実施 セミナー受講後、希望者に個別相談を実施	6回・個別相談	100%		○		
高齢期の働き方を考えるセミナー	4回・個別相談	概ね50歳以上を対象に、高齢期の働き方を選択する際に必要な情報や知識を総合的に学ぶセミナーを実施 セミナー受講後、希望者に個別相談を実施	4回・個別相談	100%		○		
シニア予備群向け出張セミナー	25回	企業等に講師を派遣し、概ね50歳から60歳代前半の従業員(シニア予備群)を対象に、退職後のキャリアビジョンや高齢期の働き方を考えるセミナーを実施することで、退職後の再就職等に向け準備を始める意識啓発やアドバイスを実施	25回	100%		○		
高齢者向け相談の実施等								
高齢者向け相談の実施		再就職等に係る高齢者からの相談に幅広く対応 職業選択チェックの実施 応募書類作成における個別添削 就職活動の各段階ごとに気づきを促すワークシートの作成・活用	実施	100%		○		
高齢者向け再就職活動支援セミナー等の実施								
基本セミナー	3100人	就職活動に必要なノウハウを提供するセミナーを開催	4751人	153%	○			
実践セミナー	360人	テーマごとに実践的なセミナーを開催	252人	70%			○	
就活スタート	720人	就活を始めるに当たり、マインドチェンジやキャリアチェンジの重要性を提供	1163人	162%	○			
就活応用 I	210人	再就職経験者の体験談とグループワークを通じてイメージを具体化	396人	189%	○			
就活応用 II	150人	高齢者の求人が多い業界・職種について、企業側関係者による解説	286人	191%	○			
シニアの社会参加サポートプログラム	120人	多様な働き方について就業相談機能を活用 基本的知識を整えるためのセミナー及びグループワークを開催	248人	207%	○			
シニアのパソコンスキルアップ講座								
入門編	初心者コース5回 入門コース12回		初心者コース5回 入門コース12回	100%		○		
基礎編	ワード基礎コース12回 エクセル基礎コース20回 パワーポイントコース7回	シニアコーナー利用者のパソコンスキル向上を図り、円滑な就職活動に結びつけるため、新たに「パソコンスキルアップ講座」を実施	ワード基礎コース12回 エクセル基礎コース20回 パワーポイントコース8回	102%		○		
応用編	ワード応用コース5回 エクセル応用コース8回		ワード応用コース5回 エクセル応用コース8回	100%		○		
65歳以上のシニア対象職場体験事業	100人	65歳以上のシニアを対象とした職場体験を実施	123人	123%	○			
情報提供								
情報提供		高齢者就業に関する情報を就業相談時に業務端末から相談者に対し提供	実施	100%		○		
業務支援		相談者の登録管理、人材開発コースの受講者管理 相談業務統計等の集計処理業務等	実施	100%		○		
生涯現役社会推進事業								
	1800人	国との連携により、高齢者のマインドチェンジやキャリアチェンジを促すセミナーを都内全域で実施	2122人	118%	○			
はつらつ高齢者就業機会創出の支援								
情報システムの運用等								
情報提供		ハローワーク求人情報を高齢システムを通じてアクティブシニア就業支援センターに選別・配信	実施	100%		○		
業務支援		アクティブシニア就業支援センターの無料職業紹介事業に係る各種情報を高齢システムで管理 相談業務統計等の集計処理業務に蓄積データを活用	実施	100%		○		
ネットワーク		アクティブシニア就業支援センターと通信回線を接続し、高齢者就業相談業務の支援、情報の共有化、業務の効率化・高度化を実現	実施	100%		○		
自所開拓求人への充実に向けた支援	2回	広域広報の実施によるアクティブシニア就業支援センターの認知度向上、求人開拓支援を図る	2回	100%		○		
地域別合同就職面接会の共催	2回	アクティブシニア就業支援センターと共催し、地域の高齢者と求人事業者との合同面接会を実施	5回	250%	○			
アクティブシニア就業支援センター職員 の育成	新任研修 1コース年2回 開所準備 随時 実務研修 年間6講座	アクティブシニア就業支援センター職員に対して、職業相談等の基礎知識・技法を付与するための研修を実施	新任研修 1コース年2回 実務研修 年間6講座	100%		○		
シニア就業支援キャラバン	12回	アクティブシニア就業支援センターと連携し、地元近隣企業への就業を目的としたセミナー、合同面接会及び就職相談を実施	12回	100%		○		
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
項目数			計 28 項目		8	19	1	
点数 (標準点 28 点)			35点以上:水準を上回る 25点から34点:水準どおり 24点以下:水準を下回る		16	19	0	35点 評価:水準を上回る

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%~91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上  
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点  
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R4)	達成率	評価			備考	
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る		
多様な働き方に対する支援									
総合相談窓口等の設置									
相談員の配置	6ブース	利用者の導入部分における総合的な相談を実施 年齢横断的サービスなどについての初期相談を実施	6ブース	100%		○			
情報コーナーの運営		パソコンでの応募書類作成や書籍閲覧などが できる情報コーナーを運営	実施	100%		○			
事業所相談		事業主を対象とした事業について相談・情報提供 求人探ししごと検索システムの運営	実施	100%		○			
専門相談窓口の設置									
起業・創業への支援	週3日	起業・創業希望者への個別相談を実施	週3日	100%		○			
職業適性相談	週5日	職業適性検査を実施 職業適性に関する個別相談を実施	週5日	100%		○			
NPO・ボランティアなど多様な働き方相談	週5日	NPO・ボランティア等の多様な働き方に関する情報 を提供	週5日	100%		○			
社会保険・年金相談	週2日	生活設計の基礎となる保険・年金等に関する相談を 実施	週2日	100%		○			
メンタルケア相談	週2日	しごとセンター利用者のうち、メンタル不安等就職困 難者に対する支援等を実施	週2日	100%		○			
多様な働き方情報の収集・提供									
多様な働き方セミナー	24回 25回(区市町村分)	様々な働き方、ワークスタイルについて情報提供を行うと ともに、働くことに関わる関連知識、ノウハウについて身に つけることのできるセミナー(区市町村と連携したセミナー も含む)を開催	24回	100%		○			
多様な就業に関する情報の収集		各種団体のヒアリングや実態調査を実施 情報コーナー図書を整備・充実により最新の情報を 収集	実施	100%		○			
NPOなどでの就業体験	20人	NPO等での就業を希望する者などを対象に短期間 の就業体験機会を提供	11人	55%		○			
就業を支援する情報サイトの運営		求人情報など多様な就業を促進するサイトを運営	実施	100%		○			
就職件数など事業実績の把握		求職者の就業状況を把握 就職後の定着状況についての把握、分析を実施	実施	100%		○			
早期再就職緊急支援事業									
早期再就職緊急支援事業	28回	キャリアカウンセリングや就職セミナー・業界研究、 就職面接会等を集中的に1日で実施する	28回	100%		○			
業界連携再就職支援事業									
業界連携再就職支援事業	短期講習プログラム 12コース 程度 合同企業面接会 12回程度	人材を確保したい業界団体と連携し、業界知識と技 能を付与する短期間の講習プログラムと業界傘下 企業とのマッチングを組み合わせた再就職支援を 実施	短期講習プログラム 10コース 程度 合同企業面接会 11回程度	88%		○			
デジタル・ビジネススキル習得支援事業									
デジタル・ビジネススキル習得支援事業	2週間コース 14回 1か月コース 26回	キャリアカウンセリングを受診した求職者に対し、デ ジタル・ビジネススキルを習得する講習を開講	2週間コース 14回 1か月コース 26回	100%		○			
ローコードによるアプリ作成スキル習得支援事業									
ローコードによるアプリ作成スキル習得支援	4回	キャリアカウンセリングを受診した求職者に対し、 ノーコード・ローコードによるアプリ作成スキルを習 得する講習を開講	4回	100%		○			
就労困難者特別支援事業									
就労困難者特別支援事業	180人	就労困難者に対する支援窓口を設置し、キャリアカ ウンセラー等によるチーム支援を構成することで、 利用者の社会的自立及び就労の準備性の向上を 目指す	165人	92%		○			
長期失業者等に向けたフォローアップ支援									
連絡調整会議の運営		雇用就業部、能力開発センターと連携し情報共有 の場を設定、訓練メニューの紹介	実施	100%		○			
各種支援メニューの案内		トライアル就労の提供、専門サポートコーナーへの 案内	実施	100%		○			
「TOKYO JOB Info」(仮称)の運営		専用アプリの構築・運営、各種SNSを活用した支援 メニューの周知、各種広報媒体等を活用したPR	実施	100%		○			
原油価格高騰等に係るオンライン就職支援									
原油価格高騰等に係るオンライン就職支援	電話相談、来所相談 オンラインセミナー・相談 月 200回程度 LINE構築・運用 月70件程度	原油価格高騰等に係る「就職特別相談窓口」を設 置、オンラインでの求職活動支援セミナーやキャ リアカウンセリングを実施	相談3,909件 (電話:2,175件、LINE:1,429件、 Webex:305件) 求職活動支援セミナー動画:9本 (視聴回数:5,004件)	121%		○			
項目数					計	22	項目		
点数 (標準点 22点)					28点以上:水準を上回る 20点から27点:水準どおり 19点以下:水準を下回る	1	19	2	21点 評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%~91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上  
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点  
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R4)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
女性の雇用就業支援								
女性再就職支援窓口等の運営								
アドバイザーによる支援	5ポスト	就職支援アドバイザーとしてキャリアカウンセラーを配置し、個別カウンセリングを実施 求人情報の提供や職業紹介、仕事と家庭を両立しながら働くためのアドバイス、保育に関する相談の実施等	5ポスト	100%		○		
ミニセミナーの実施	100回	課題別・活動段階別支援のため、少人数のグループワークを中心としたミニセミナーを実施	120回	120%	○			
就職面接会等の実施	10回	書類選考を経ない面接機会確保のため、小規模の就職面接会を実施	41回	410%	○			
雇用就業情報等の提供		求職活動に活用できる情報の提供 各行政機関等の子育て支援情報や保育施設の情報、仕事と家庭の両立に関する情報の提供等	実施	100%		○		
キッズスペースの設置		子ども連れでも安心して来所できるよう、キッズスペースを設置	実施	100%		○		
啓発セミナー	4回	応援テラスの各種事業や再就職事例、家庭と仕事を両立している著名人による講演等を内容とするセミナーを実施(レディGO! Projectプラス)	4回	100%		○		
職場見学の実施	100人	blanksのあいた女性や子育て中の女性のために職場見学を実施	56人	56%		○		
子育て女性向け再就職支援イベントの実施	150人	区市町村と連携した子育て女性向けの再就職支援イベントを実施	43人	29%		○		
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
女性再就職支援事業								
女性再就職サポートプログラム等								
女性再就職サポートプログラムの実施								
女性再就職サポートプログラム(拠点型)	9回	基礎知識や業界事情、最新のスキルを身につける能力開発に加えて職場体験までを組み合わせた総合的な支援プログラムを実施	9回	100%		○		
女性再就職サポートプログラム(拠点型)フォローアップセミナー	2回	サポートプログラム(拠点型)受講修了後、未就職の受講生に対して、グループワークを中心としたセミナーなどを実施	9回	450%	○			
オーダーマイド型・女性しごと応援テラス 5日間コース	7回	企業研究・業界研究や、企業との面接対策、再就職成功者との交流会・グループワーク、合同就職説明会等を自宅近くで開催	7回	100%		○		
オーダーマイド型・女性しごと応援テラス 1日コース	20回	再就職準備に必要な就活ノウハウを付与するセミナーを開催	20回	100%		○		
女性向け在宅ワークセミナー	45人	家庭の事情等により自宅で働くことを希望する女性向けに、在宅ワーク等に関する基本的な情報を提供するセミナーを実施	51人	113%	○			
レディGo! ワクワク塾	3期	働くイメージを高めるとともに、再就職への準備に必要なことを習得できる講座を実施、併せて短期インターンシップを実施	3期	100%		○		
託児室の運営等		センターに設置した託児室の運営サポートプログラム(地域型)等の実施に伴う託児については、施設借り上げにより実施	実施	100%		○		
女性しごと応援キャラバン事業	地域女性就業相談会 50回 キャリアカウンセラー 飯田橋2ポスト、多摩1ポスト 求人開拓員 飯田橋1ポスト	都内各区市町村においてキャラバン型のセミナー及び就職相談を実施、セミナー等受講後キャリアカウンセリング及び求人開拓の実施	地域女性就業相談会 50回 キャリアカウンセラー 飯田橋2ポスト、多摩1ポスト 求人開拓員 飯田橋1ポスト	100%		○		
				計 17 項目	4	11	2	
				点数	22点以上・水準を上回る			19点
				(標準点 17点)	15点から21点・水準どおり	8	11	0
					14点以下・水準を下回る			評価:水準どおり

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%~91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上  
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点  
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R4)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
しごとセンターの多摩地域展開								
しごとセンター多摩の管理運営		しごとセンター多摩の管理運営						
しごとセンター多摩の建物維持管理		しごとセンター多摩の建物維持管理						
労働相談情報センター国分寺事務所の建物維持管理		労働相談情報センター国分寺事務所の建物維持管理						
立川駅南口 東京都・立川市合同施設の建物維持管理		立川駅南口 東京都・立川市合同施設の建物維持管理	実施	100%		○		
しごとセンター多摩事業								
総合相談サービス								
総合案内		利用者の導入部分で総合的にサービスを案内	実施	100%		○		
情報コーナーの運営		パソコンでの応募書類作成や情報検索のほか、書類閲覧も可能な情報コーナーを運営	実施	100%		○		
事業所相談		事業主を対象とした事業について相談・情報提供求人預かり	実施	100%		○		
全年齢層に対する基幹サービスの提供								
キャリアカウンセリング	12ポスト	利用者の適性や就職に向けた希望条件を勘案しつつ、現実の求人市場を踏まえ、就職活動に関する幅広いサービスを提供	12ポスト	100%		○		
求人情報等の提供による就業支援		具体的な業界情報を含め条件等に合致した求人情報を求職者に提示し、対象となる求人企業と連絡調整しマッチングを実施	実施	100%		○		
就職ノウハウセミナーの実施	36回	厳しい現状を十分周知するとともに求職者に求人市場の現状確認をさせ、今後の就職活動の進め方などを指導	78回	217%	○			
能力開発コースの実施	24回	就職にあたっての必須要件とされているパソコン操作技術に乏しい求職者に対して技術を付与	24回	100%		○		
土曜就活セミナーの実施	40回	平日に時間の取れない方を主な対象に、毎回仕事に関するテーマを設定して必要な知識を付与	43回	108%		○		
ターゲットを絞ったサービス提供								
若年者就職力アップ事業	20人	無職または非正規雇用者として働く若者に対し、コミュニケーション等の基礎能力や職務能力を向上させるためのプログラムを提供	9人	45%		○		
若年者早期就職支援事業	30人	非正規雇用者として働く若者に対し、短期間のグループワークと個別カウンセリングの組み合わせ及びU-35と連携したメニューを提供	18人	60%		○		
既卒等若年者向け就職面接会	10回	既卒者等のうち特に支援が必要な方を中心に、就職面接会を開催	10回	100%		○		
定年等退職者に対する支援	3回	再就職活動のプロセスを網羅した内容に、高齢者特有の再就職状況を加味した総合的なセミナーを実施	3回	100%		○		
アフターフォロー事業	10回	アフターフォローアドバイザーの設置、就職後間もない社員・中小企業向けの定着支援等セミナーの開催	15回	150%	○			
新卒支援事業								
面接対策セミナー	5回	就職面接会の上手な活用方法(企業の回り方)と模擬面接をセットにしたセミナーを実施	5回	100%		○		
合同企業説明会	5回	新卒採用活動中の企業を集めた合同企業説明会を実施	5回	100%		○		
中小企業見学会	15回	新卒者等の中小企業の理解を促進するため、合同企業説明会に参加した企業に赴いて、中小企業の現場を体験できる見学会を実施	25回	167%	○			
大学等就職支援者向けセミナー	2回	東京しごとセンター多摩の就職支援に関するノウハウを活用し、大学のキャリアセンター職員等を対象に、新卒者等の就職支援に関するセミナーを実施	2回	100%		○		
保護者向けセミナー	1回	若年者の志望先決定に大きな影響力を持つ保護者を対象に、若年者の就職の現状や中小企業の理解を高めるセミナーを実施	1回	100%		○		
保護者向け中小企業見学会	1回	若年者の志望先決定に大きな影響力を持つ保護者が、中小企業の現状を理解できるよう、大学等と連携して中小企業の現場を体験できる見学会を実施	1回	100%		○		
多摩地域若者・中小企業交流支援事業								
講師派遣	125回	中小企業交流会に先立ち、効果的の実施に向け、中小企業の魅力や通称探しのポイントなどについて学生に理解の場を提供	108回	86%		○		
企業研究・業界研究セミナー	300人	専門家による当日参加予定の企業・業界研究を中心としたセミナーの実施	162人	54%		○		
人事担当者向けセミナー	40社	企業人事担当者向け、自社の魅力の伝え方、人材確保の採用戦略等に関するセミナーの実施	40社	100%		○		
オリエンテーション	300人	参加者同士のコミュニケーションを図り、交流会での企業に対する質問等を考えるワークの実施	164人	55%		○		
若者・企業交流会	10回	多摩地域の学生を対象に、企業経営者等との交流会を実施	10回	100%		○		
企業見学会・職場体験の実施	10回	参加者の希望業界及び職種に対する更なる理解促進を目的として、交流会参加企業への企業見学会・職場体験の実施	35回	350%	○			
地域連携事業								
就業支援事例検討会	2回	市町村の就業支援担当者向けに、就業支援における課題を検討する事例検討会を開催	2回	100%		○		
企業向けセミナー	1回	多摩地域の企業に対して、中小企業団体等と連携して、企業の好事例の紹介、早期退職者を生み出さないような企業の雇用環境作り等を内容としたセミナーを実施	1回	100%		○		
企業説明会	1回	多摩地域の中小企業に対し、自ら企業PR等を行う場を設け、求職者を多摩地域の中小企業へ誘導するような企業説明会を実施	1回	100%		○		

区分	規模(概ね)	内容	実績(R4)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
合同就職面接会	大規模面接会 4回 地域就職面接会 8回 地域連携型就職面接会 6回	中小企業団体等と連携して、求職者を対象とし、多摩地域の中小企業等へ人材供給するための合同就職面接会を実施	大規模面接会 4回 地域就職面接会 8回 地域連携型就職面接会 6回	100%		○		
地域セミナー	20回	面接直前・事前対策として、求職者向けセミナーを実施	20回	100%		○		
女性向けサービス								
女性再就職支援窓口等の運営								
多摩ランチの設置		多摩地域に、女性に対する専門の相談支援機関を設置し個別カウンセリング及びセミナーを実施するとともに、託児スペース付きで設置	実施	100%		○		
キャリアカウンセリング	2ポスト	利用者の適性や就職に向けた希望条件を勘案しつつ、現実の求人市場を踏まえ、就職活動に関する幅広いサービスを提供	2ポスト	100%		○		
ミニセミナー	30回	利用者の抱えている課題別・活動段階別の支援として、一方的な知識やノウハウの付与だけでなく、グループワークを通して、自らの気づきを促す	42回	140%	○			
啓発セミナー	1回	再就職に関心のある女性を対象に啓発セミナーを実施し、女性の再就職の促進を図る	1回	100%		○		
子育て女性向け再就職支援イベントの実施	50人	区市町村と連携した子育て女性向けの再就職支援イベントを実施	31人	62%			○	
女性再就職支援事業								
女性再就職サポートプログラム(拠点型)	女性再就職サポートプログラム(拠点型) 4回 フォローアップセミナー 2回	女性が再就職しやすい職種をコーステーマとして、基礎知識や業界事情、能力開発、企業人事担当者との意見交換の場の設置等を組み合わせた総合的な支援プログラムを実施 受講修了者への確実なフォロー体制も構築	女性再就職サポートプログラム(拠点型) 4回 フォローアップセミナー 4回	133%	○			
オーダーメイド型女性しごと応援出張テラス	1日コース 14回 5日間コース 3回	女性しごと応援テラスが地域に出張し、各自治体のニーズに応じたセミナーやプログラムをアウトリーチ型支援メニューとして実施	1日コース 14回 5日間コース 3回	100%		○		
子育て応援!企業交流会	4回	育児等で家庭や地域から出にくい女性を対象に、女性の活用に積極的な多摩地域の企業との交流会を実施	4回	100%		○		
託児室の運営等		託児室の運営を委託	実施	100%		○		
オンライン化対応		セミナー等オンラインによる事業実施	実施	100%		○		
項目数			計 41 項目	6	29	6		
点数 (標準点 41 点)			52点以上:水準を上回る 37点から51点:水準どおり 36点以下:水準を下回る	12	29	0	41点 評価:水準どおり	

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%~91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上  
水準どおり:「標準点の0.98倍(小数点以下切捨)+1」点以上かつ「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点  
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下

区分	規模(概ね)	内容	実績(R4)	達成率	評価			備考
					水準を上回る	水準どおり	水準を下回る	
しごとセンターの管理運営								
提供施設等の使用の承認		提供施設(講堂、セミナー室)及び附帯設備の使用承認・貸出	実施	100%		○		貸出施設利用状況のとおり。
「しごとセンター業務システム」の運営		一式「しごとセンター業務システム」の管理運営	一式	100%		○		
しごとセンターの建物維持管理		しごとセンターの建物維持管理	実施	100%	○			大規模改修工事に伴い、建物内部等でのフロア移転を行っただけでなく、建物管理者として積極的に工事に関わったことを評価する。
項目数			計 3 項目		1	2	0	
点数 (標準点 3 点)			4点以上:水準を上回る 3点から3点:水準どおり 2点以下:水準を下回る		2	2	0	4点 評価:水準を上回る

※1 各項目 水準を上回る(2点):110%以上または新しい取組や工夫があった場合、水準どおり(1点):109%~91%、水準を下回る(0点):90%以下

※2 合計 水準を上回る:「標準点の1.25倍(小数点以下切上)」点以上  
水準どおり:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)+1」点以上 かつ 「標準点の1.25倍(小数点以下切上)-1」点  
水準を下回る:「標準点の0.88倍(小数点以下切捨)」点以下